

第3回6月18日（木）

今回の一流塾は、講師に木村皓一氏（㈱ミキハウス代表取締役社長）、福川伸次氏（一流塾特別顧問、(財)機械産業記念事業財団会長、元通産省事務次官）を講師にお迎えしました。

木村氏は『熱意ある経営—なくなっては困る、といわれる会社—』と題し、創業時の第一期生採用時のエピソードや、趣味の野球を通して人を「ほめる」ことの大切さを実感したこと等、自らの歩んできた人生とミキハウスのオーナー経営者としての経営哲学を重ね合わせながらお話をされ、塾生からは人材の大切さを改めて認識した、との声が多くありました。

福川氏は、『世界はどう動く、企業をどうする—求められる経営者の資質』と題し、企業環境の激変と時代認識、今後の世界情勢の変化、経済システムの改革等についての鋭い分析を行われ、現在は産業の転換点にあり、経済の牽引役となる産業を創らなければならないと説かれました。塾生からは「マクロ的な視点の大切さを痛感した」といったコメントがありました。

懇親会の特別ゲストには、残間里江子氏（プロデューサー、club willbe 代表）をお迎えし、『今こそ「大人のマーケット」の創造を』と題し、従来脚光を浴びていなかった「アラ還（50代～60代の還暦前後）世代」は、シニア、シルバーというイメージとは異なり、若々しく元気な「大人」の世代である、アラ還世代の人達に出番を作りたい、と club willbe 設立に至った熱い思いを語って頂き、機智に富んだ軽快な語り口に会場は大いに盛り上がりました。

懇親会後に開催された恒例の放談懇親会では、塾生に加えて木村氏、残間氏も参加され、大いに盛り上がりました。